

専門学校読売自動車大学校

学校関係者評価 報告

「令和5年度」

令和6年9月1日

学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価

学校関係者評価は、卒業生・保護者・地域住民・企業役職員等の学校関係者を選任し、学校が実施した令和5年度における自己点検評価の結果に関する評価を行い、教育活動と学校運営の改善に向けた助言を行う。

なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策等が適切であるかどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

2. 学校関係者評価委員会の実施

令和5年度の「自己評価報告書」を、学校関係者委員に事前に送付した上で委員会を開催し、ご意見・ご提案を頂いた。また、委員の皆様には基準項目毎に4段階で評価頂き、その結果も含め報告書としてまとめた。尚、第1回委員会においては昨年度の教育活動や学校運営についての評価と今後の課題の提起を行い、次回の第2回委員会では令和5年度の間評評価と次年度への取り組み課題等の討議を行う。

<令和6年度 第1回> 開催日時：令和6年 7月17日（水）17：00～18：00

場 所：510教室

<令和6年度 第2回> 開催日時：令和6年 11月14日（木）17：00～18：00

場 所：510教室

3. 学校関係者評価委員会の出席者

① 学校関係者評価委員

- ・齋藤 義明：地域住民 亀戸二丁目町会 会長
- ・戸辺 祥太：地域代表 亀戸二丁目町会
- ・戸田 博樹：企業等 トヨタモビリティ東京株式会社
- ・矢田 泰久：卒業生 読売自動車大学校同窓会 会長
- ・蛭田 浩由：保護者 1級整備学科4年生

（敬称略・順不同）

② 学校側参加者

- ・藤本 昌弘：理事長
- ・渡辺 宜男：校長
- ・中村 宏之：法人本部長
- ・新谷 達夫：事務局長
- ・北村 眞一：校長補佐兼1級整備学科 学科長
- ・北島 鎮夫：自動車整備学科 学科長
- ・鈴木雄一郎：教務委員長

4. 学校関係者評価委員の意見・提案と評価平均点 (令和5年度 学校関係者評価)

基準1 教育理念 4.0 (前回 4.0←3.8←3.7)

- ・学生の力だけでなく、教員の教育力・人間力の向上にも重きを置いていることが良い。

基準2 学校運営 3.8 (前回 4.0←3.5←4.0)

- ・自動車業界やグローバル化の動向を踏まえ3つのポリシーで運営に反映されていることが良い。
- ・日本人向けのPRの強化。

基準3 教育活動 3.8 (前回 3.8←3.5←4.0)

- ・企業見学、卒業生訪問、産業研究等で1級課程のキャリアイメージを持てるような機会を作る。各評価項目の具体的な事例が見つげにくく評定の妥当性がわかりにくい。また、課題として書かれている内容が評価項目で点数が低い項目との関連も不明な点が多い。
- ・変化にしっかり対応していただければ大丈夫です。

基準4 学修成果 3.5 (前回 3.5←3.5←3.3)

- ・一級課程の合格率の改善が第一かと、企業との連携した上での、提案になるが過去問題の早期クリア学生に「〇〇へ招待」等のモチベーション向上も必要かと考える。
- ・就職率や資格取得率など評価項目と課題の関連性が比較的わかりやすい。社会的な活躍は人間性の部分につながる評価項目と思うが、改善策や把握する工夫があると尚良い。

基準5 学生支援 3.5 (前回 3.5←3.5←3.3)

- ・支援体制は学生便覧などからよく分かりました。課題に対する改善策も妥当と思います。
- ・筆記試験対策の強化、先生方も大変かとは思いますが、課外活動の強化を望みます。

基準6 教育環境 3.8 (前回 4.0←3.8←4.0)

- ・工夫がなされており妥当と思いました。

基準7 学生の受け入れ募集 3.8 (前回 3.5←3.0←3.7)

- ・課題への理解が素晴らしい。
- ・人員不足は否めないと思いますが、学校全体でのフォローが必要と思いました。
- ・日本人向けのPRの強化。

基準8 財務 4.0 (前回 4.0←3.5←3.7)

- ・特になし。

基準 9 法令等の遵守 4.0 (前回 4.0←3.8←3.7)

- ・特になし。

基準 10 社会貢献・地域貢献 3.5 (前回 3.5←3.3←4.0)

- ・亀二町会の HP への掲載でも協力できるところがあると思いますので、イベント情報など頂ければと思います。
- ・時間的制約があり難しいでしょうが、まずは地域貢献活動から。

基準 11 国際交流 4.0 (前回 4.0←3.8←4.0)

- ・特になし。

その他の意見等

- ・今回の委員会を欠席してしまい、申し訳ありません。弊社も整備士確保のためのスカラシップや学生向けの見学会やレース見学などを検討しております。相互サポートできる事は実施していきたいと考えております。必要に応じて、上位同伴で学校訪問させてください。よろしくお願いいたします。
- ・日本人学生獲得に向けた PR 強化が必要。

まとめ

委員の方々のご意見・ご提案を参考として、今年度及び来年度に向けた学校運営の検討を行う。

以上